

山梨県水産技術センター・研究課題事後評価表  
山梨県水産技術センター課題評価委員会(2013.2.4)

試験・研究課題名：低魚粉飼料開発試験  
大課題名：養殖効率の向上  
小課題名：低魚粉化飼料の効果試験  
細目課題名：低魚粉化飼料の効果試験  
担当者名：主任研究員 名倉 盾

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	4 / 5	研究目標は概ね達成されている。一部、実施途中の測定項目が残されており、早急に完了させて頂きたい。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	4 / 5	有用性は高い。河川水を使った飼育実験にて効果を検証すると波及性も高まるだろう。
3 研究の発展性	4 / 5	トウモロコシ以外の原料を用いた試験についても、併せて実施して頂きたい。
4 研究課題選定の妥当性	4 / 5	魚粉価格が高騰しており、本研究は喫緊の課題である。
総合評価	4 / 5	国際情勢や為替に左右されない飼料の開発や試験に取り組んで頂きたい。また、様々な飼育条件(河川水、湧水など)を考慮した飼料の効果も検討して頂きたい。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

残された課題については、引き続き全国養鱒技術協議会養殖技術部会の飼料連絡試験に参加し、取り組んでいきたい。また、(独法)水産総合研究センターと連携を図りながら、超低魚粉耐性ニジマスの選抜育種についても検討していきたい。

山梨県水産技術センター・研究課題事後評価表  
山梨県水産技術センター課題評価委員会(2013.2.4)

試験・研究課題名：漁業被害の軽減

大課題名：漁業被害の軽減

小課題名：カワウの食性調査に基づく被害対策の効果検証

細目課題名：カワウの食性調査に基づく被害対策の効果検証

担当者名：研究員 芦澤 晃彦

評価項目	評価点	指摘事項
1 研究目標の達成度	5 / 5	カワウ被害対策の高い費用対効果を明らかにしており、研究の達成度は高い。
2 成果の有用性 (普及性、波及性)	5 / 5	先進的な取り組みは大いに評価でき、成果の有用性は高い。
3 研究の発展性	4 / 5	アユ以外の魚種を増やすことによるカワウ被害の軽減については、今後も検討が必要である。
4 研究課題選定の妥当性	5 / 5	カワウの食害による漁業被害は大きく、研究課題は妥当である。
総合評価	5 / 5	周辺他県との連携を密にして、更なる被害対策の進展につなげて頂きたい。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

カワウ被害軽減のため、研究成果は所外発表会等を通じて漁協に普及指導していく。平成25年度からは繁殖阻害の作業効率を改善するための研究を開始する。